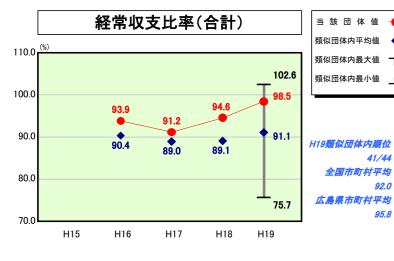
公債費以外

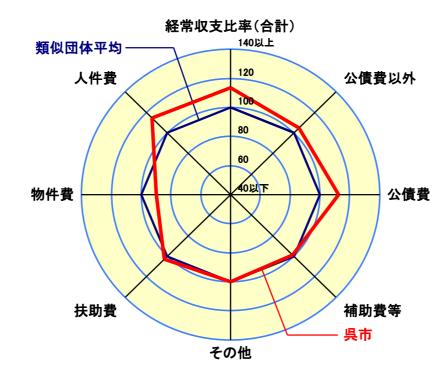
H17

# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

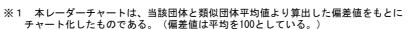
#### 経常収支比率の分析











- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類 した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



【経常収支比率(合計)】経常収支比率は昨年度より上昇するとともに、類似団体平均を上回っている。これは、人件費と公債費が類似団体平 均を上回っていることが主な要因と考えられる。今後とも、財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直しを実施することにより、経常経

費の抑制に努め、財政構造の弾力性確保に努力している。 【人件費】人件費に係る経常収支比率は昨年度とほぼ横ばいだが、類似団体平均を上回っている。これは、職員数が類似団体平均と比較し て多いことが主な要因と考えられる。今後とも,財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直しを実施することにより,人件費の削減に

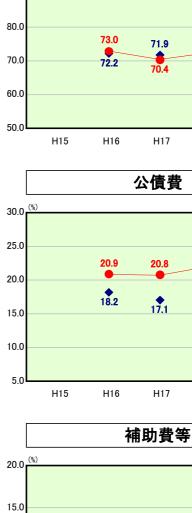
【扶助費】扶助費に係る経常収支比率は昨年度とほぼ横ばいだが、類似団体平均を上回っている。これは、高齢化率が全国平均を上回って いることなどにより生活保護費の額が高いことが主な要因と考えられる。今後とも、平成17年度に策定した就労支援プログラムに沿って被保護

世帯の自立促進を行うなどにより上昇傾向に歯止めをかけるよう努力していく。 【公債費】 公債費に係る経常収支比率は昨年度より微増し、類似団体平均を上回っている。これは、大型事業の集中や合併8町の市債の引 き継ぎなどにより市債元利償還金が増加していることが主な要因と考えられる。今後とも、財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直 しを実施することにより、市債を抑制するとともに、市債を活用し実施する投資的経費については、後年の財政負担を考慮し財源的に有利な市 倩を活用! 計画的な宝施に怒めていく

はたパルのは1978とから1978とから 【物件費、補助費等その他】物件費、補助費等,その他に係る経常収支比率は昨年度より上昇しているが、類似団体平均を下回っている。今 後とも、財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直しを実施することにより、物件費については施設・内部的管理経費、補助費等については各種団体に対する負担金・補助金、その他特別会計への繰出金を不断に見直し、経常経費の削減に努めていく。

「人件費及び人件費に準ずる費用」人件費及び人件費に準ずる費用の人口1人当たりの決算額は昨年度より敬値、類似団体平均を大幅に 上回っている。これは、職員数が多いことが主な要因と考えられる。今後とも、財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直しを実施す

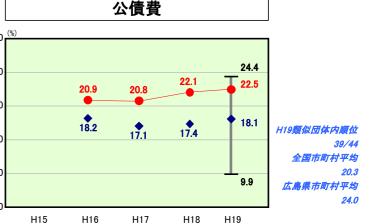
ることにより、人件費の削減に努めていく。 【公債費及び公債費に準ずる費用】 公債費及び公債費に準ずる費用の人口1人当たりの決算額は昨年度より下降しているが、類似団体を上 回っている。これは、公債費が多額となっていることが主な要因と考えられる。今後とも、財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直しを実施することにより、市債を抑制するとともに、高金利の公的資金の繰上償還制度を活用するなどして、公債費の縮減に努めていく。 で実施することにより、印頂を印刷するとともに、商本刊の公的貝本の様工原造制度で活用するなとして、公頂貨の組織に劣めていた。 【普通建設事業費】 普通建設事業費の人口1人当たりの平成19年度及び過去5年甲均の決算額は昨年度より下回ったものの、類似団体 平均を上回っている。これは、近年の大型事業、合併建設計画事業や呉港管理者としての港湾整備事業を実施していることが主な要因と考え られる。今後とも、財政集中改革プログラムの着実な実践と新たな見直しを実施することにより、事業の緊急度・優先度を勘案しつつ、普通建設



90.0



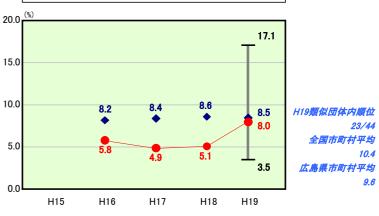
86.1

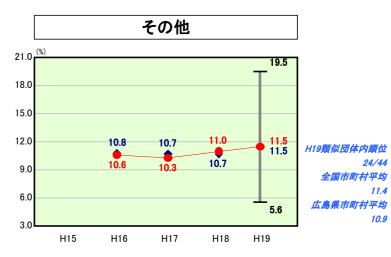


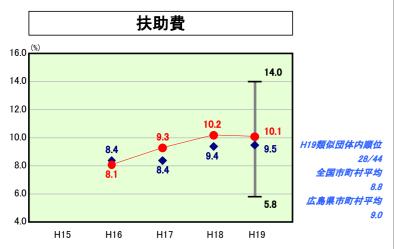
72.5

71.7

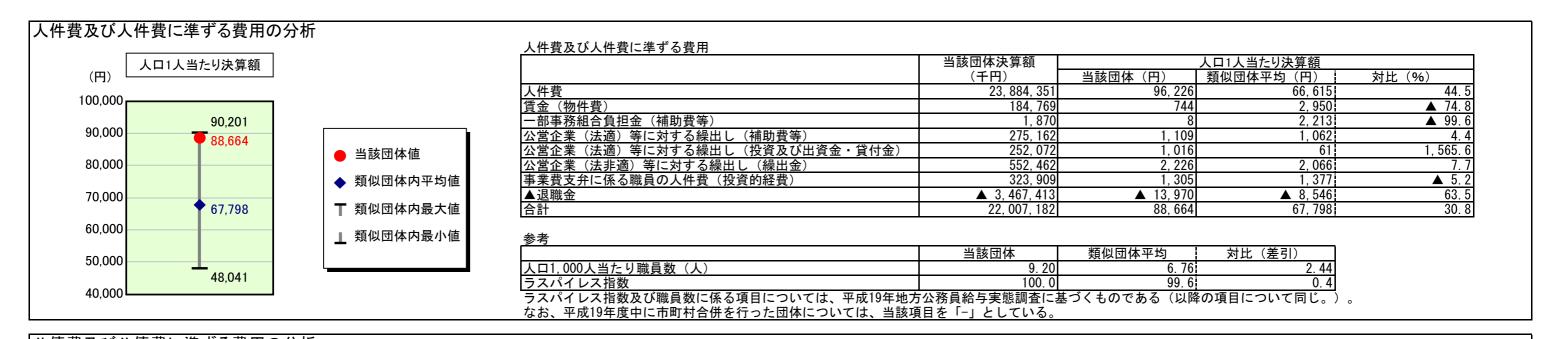
H18



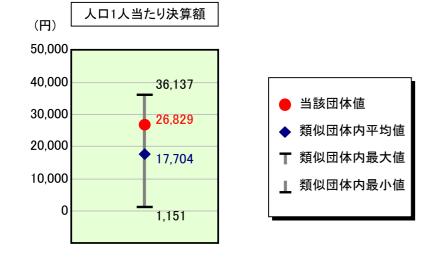




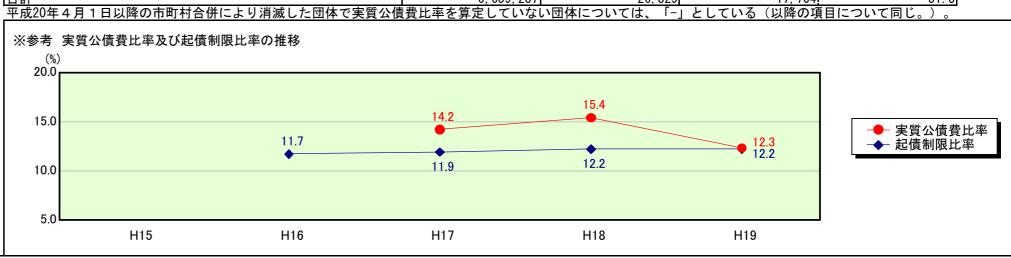
#### 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)



# 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



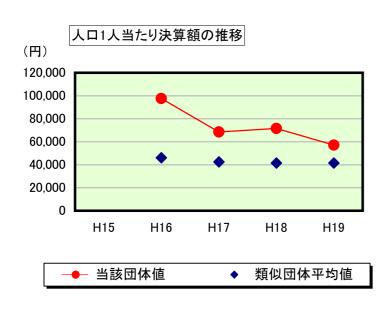
公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)				
	当該団体決算額	人口1人当たり決算額		
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	11, 688, 342	47, 091	28, 658	64. 3
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	_	_	60	_
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	3, 483, 892	14, 036	13, 015	7.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又 は負担金に充当する一般財源等額	_	_	1, 057	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する 一般財源等額	1, 480, 948	5, 967	2, 139	179. 0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	3, 417	14	15	<b>▲</b> 6. 7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>▲</b> 9, 997, 362	<b>▲</b> 40, 278	<b>▲</b> 27, 239	47. 9
合計	6, 659, 237	26, 829	17, 704	51. 9



#### 広島県 呉市

# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

### 普通建設事業費の分析



#### 普通建設事業費

	当該団体決算額	人口1人当たり決算額					
	(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)	
H15	-	-	-	-[	-	-	
うち単独分	-				-	-	
H16	24, 825, 152	97, 603	-	46, 022	-	-	
うち単独分	15, 416, 511	60, 612	-	31, 954	_	-	
H17	17, 301, 933	68, 461	▲ 29.9	42, 513	▲ 7.6	▲ 22.3	
うち単独分	9, 813, 689	38, 831	▲ 35.9	28, 218	▲ 11.7	▲ 24.2	
H18	17, 896, 765	71, 488	4. 4	41, 476	▲ 2.4	6. 8	
うち単独分	10, 368, 705	41, 418	6. 7	27, 327	▲ 3.2	9. 9	
H19	14, 173, 754	57, 104	<b>▲</b> 20.1	41, 439	▲ 0.1	▲ 20.0	
うち単独分	7, 890, 648	31, 790	▲ 23.2	26, 115	<b>▲</b> 4.4	▲ 18.8	
過去5年間平均	18, 549, 401	73, 664	▲ 15.2	42, 863	▲ 3.4	▲ 11.8	
うち単独分	10, 872, 388	43, 163	<b>▲</b> 17. 5	28, 404	▲ 6.4	<b>▲</b> 11. 1	